



CHAdeMO



# 2012 活動報告書

(2012年4月1日～2013年3月31日)



CHAdeMO 協議会

# ごあいさつ



会員の皆さまには、平素からEV普及推進活動へのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協議会では、2012年度の活動スローガンを「さらなるオープン化で世界に飛躍を！」とし、開かれた協議会活動を推進することを目指してまいりました。

この活動のひとつであるCHAdeMO仕様の標準化は、2012年9月にはJISの標準仕様書(TS: Technical Specification)として登録することができ、今年後半にはいよいよIEC規格として国際標準化が達成できる見通しです。

また協議会としてのコミュニケーションパッケージを作成し、これを活用した欧州PRツアーを実施など新しい活動にも取り組んできております。

充電インフラの普及の面では、2013年1月にCHAdeMOの急速充電器設置台数が世界で累計2,000基に達したことを発表いたしました。この1年間での増加分1,000台は欧州をはじめとする海外での設置が大きく増加したことによります。2013年中にはさらに2倍の4,000台に増加すると予想されます。

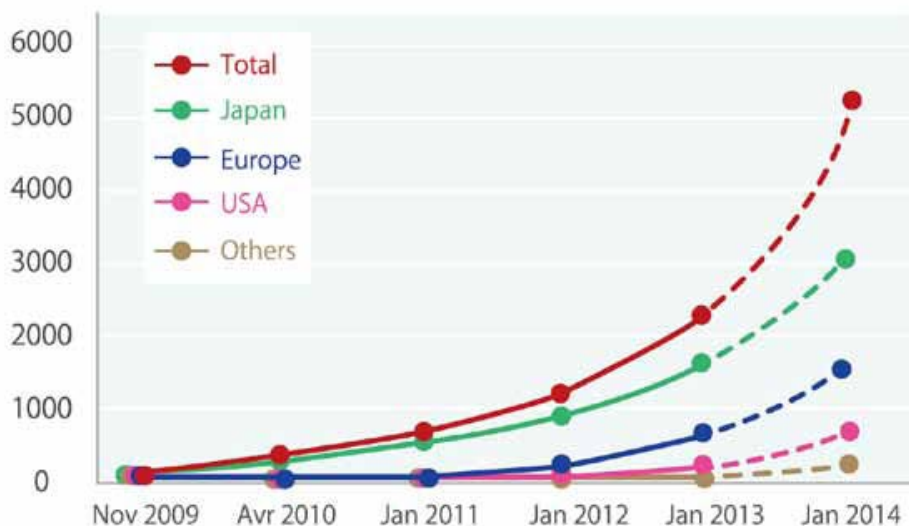
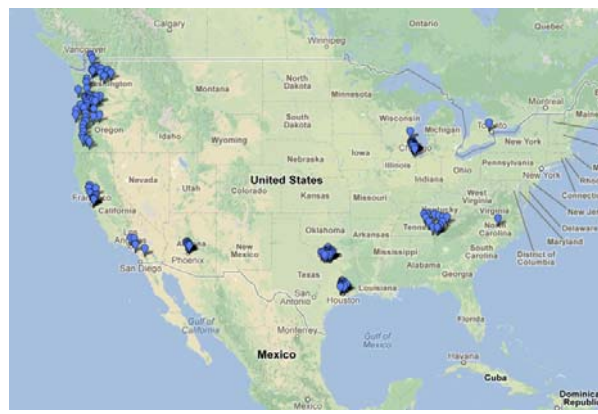
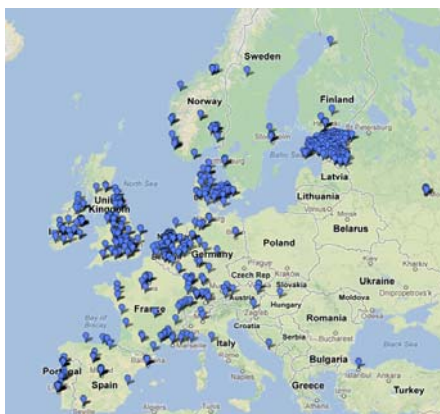
チャデモ協議会は温暖化防止という大義のもとに、EV普及に向けた充電インフラの整備を更に推進して参りたいと思います。会員の皆さまにおかれましては、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 志賀 俊之

# CHAdemo 累計 2,500 台を達成

CHAdemo は、世界で唯一の実用技術として、欧州・北米でも本格的に普及がはじまり、2013年3月に累計設置台数 2,500 台を達成しました。

発足から2年の2012年1月に達成した累計 1,000 台はほとんどが日本国内に設置されたものでしたが、その後 2,500 台までの増加分は欧州・北米での設置が過半数を占めており、海外での普及拡大が大きく寄与しました。2013年度の普及ペースはさらに加速し、年末までには世界累計 4,000 台が見込まれます。



# EV 普及に不可欠な急速充電インフラ

## 急速充電器

2013年3月時点で、国内外40社の急速充電器メーカーが販売または開発を行っています。設置場所や利用者ニーズに応じて分離型、中容量型、蓄電池内蔵型などのさまざまなバリエーションの製品化が進んでいます。

								
ハセテック	高岳製作所	高砂製作所	日鉄エレックス	丸電テクノシステムズ	日本リライアンス	富士電機	日産自動車	ニチコン
								
デルタ電子	シンフォニアテクノロジー	GSユアサ	JFEエンジニアリング	菊水電子	NTTファシリティーズ	日立製作所	NEC	三英社製作所
								
安川電機	エネゲート	デンゲン	EVTEC (Switzerland)	PNE SOLUTION (Korea)	JoongAng Control (Korea)	Petrotec (Portugal)	Andromeda (Italy)	SIGNET Systems (Korea)
								
ABB (Switzerland)	EVTRONIC (France)	Efacec (Portugal)	Aerovironment (America)	Aker Wade (America)	ECotality NA (America)	SGTE (France)	Circontrol (Spain)	GH Electrotermia (Spain)
								
MAGNUM CAP (Portugal)	Siemens (Germany)	Schneider (France)	IES Synergy (France)	DBT (France)				

# CHAdemo EV

CHAdemo 準拠のEVは2012年度、フリート向け販売を含めて国内で8車種に拡大しました。また、欧州ではプジョー・シトロエン社が Partner, Berlingo をスペイン工場で生産開始するなど、2013年に世界のEV市場は大幅に拡大する見込みです。



三菱 MINICAB MiEV



三菱 i-MiEV



日産 LEAF



三菱 MINICAB MiEV Truck



Peugeot iOn



Citroen C-ZERO



Citroen Berlingo



Peugeot Partner



マツダ デミオEV



ホンダ フィットEV



トヨタ eQ



三菱 Outlander PHEV



BD Otomotiv eFiorino



BD Otomotiv eKANGOO



BD Otomotiv eSCUDO



BD Otomotiv eTRAFIC



BD Otomotiv eDUCATO



Micro-Vett Ducato



Micro-Vett Fiorino



Protoscar LAMPO2

# 技術部会の活動

## CHAdeMO ver.1.0 仕様書・検定 WG

技術部会では CHAdeMO 標準仕様書 ver.1.0 を 2012 年 1 月に発行後、試験仕様の策定および詳細仕様改定審議を行なう WG を 2012 年度に 19 回開催しました。検定仕様書は当初の計画より遅れ、2013 年 4 月に発行を予定しています。

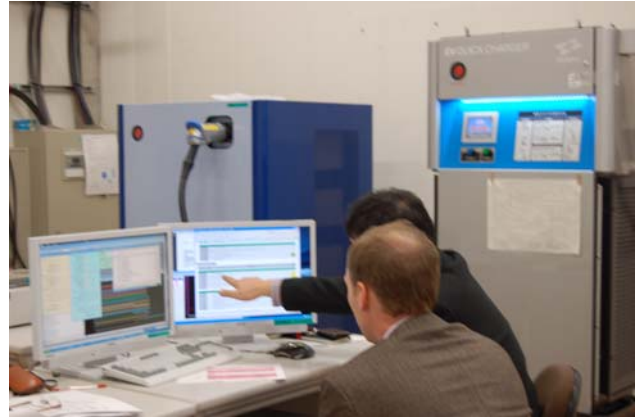
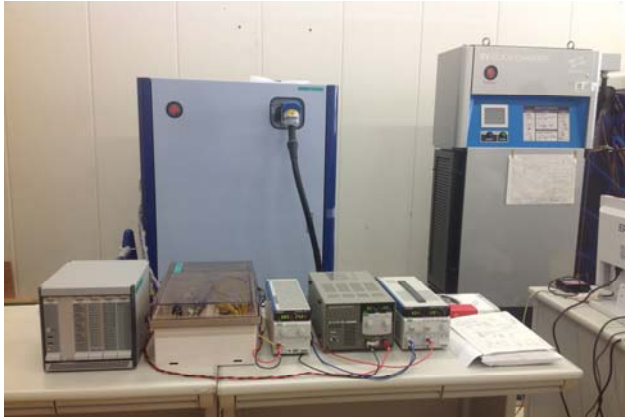
2012 年度の活動計画のひとつにあげていた外部認証機関による充電器検定は、その実現に向けて検定システムの開発を行なってきました。2013 年 2 月 6 日から 7 日にかけて検定システムの検証と ver.1.0 対応充電器と車両の相互接続試験を兼ねた合同試験を実施しました。この合同試験には、自動車メーカー 7 社から CHAdeMO 準拠の EV9 台が一同に集まり、充電動作、安全性、EMC に関する検証を行ないました。



試験会場に集結した EV (左から 三菱 i-MiEV, MINICAB MiEV, アウトランダーPHEV, マツダ デミオ EV, ホンダ フィット EV, スバル プラグインステラ, 日産 リーフ, トヨタ eQ, スズキ EV エブリイ)

Ver.1.0 対応検定システムは、検定 WG で作成した基本設計を元に、ハードウェア製作を(株)高岳製作所、ソフトウェア開発をベクター・ジャパン(株)が担当し、2013 年 2 月に ver.1.0 対応急速充電器の第 1 号となる(株)日鉄エレックス製充電器と接続試験を行いました。

検定システムは基本機能確認まで完了した段階です。今後、外部検定機関の候補先とも協力しながら、エラー処理などの詳細試験項目の確認方法、検定システムの運用スキームなどを策定していく予定です。



検定システム開発の様子



急速充電器とEVの接続試験

## チャデモ・プロトコル国際標準化の動向

### JIS TS D0007

2012年8月、日本工業標準調査会(JISC)の自動車技術専門委員会において急速充電に関する規格を標準仕様書として取り纏めていくことが承認され9月20日、CHAdeMO規格がJIS標準仕様書(TS D0007)として正式に発行されました。

TSはJISの制定に先行して早期に規格を公開できる制度で、CHAdeMOが日本の公的規

格であることを国内外にアピールし、今後の普及活動を後押しすることが期待されます。

IEC61851-23, -24

2012/5/17-24 東京会議で CD のレビューがほぼ完了し、CDV に移行。この段階では絶縁監視の要件と CHAdeMO の地絡監視方式が主な議論の対象となっていました。

-23, -24CDV は、2013 年 2 月に投票が行なわれ、承認が完了しました。

2013 年 4 月のトロント会議で最終フェーズである FDIS に向けた審議が行なわれます。

今後の見通し： EU 委員会は 2017 年以降コンボシステムを DC 充電器規格の標準とする指令案を発表しています。しかし欧州にはすでに CHAdeMO を導入している多くの国・地域があり、2 万台を超える EV が存在しています。また、コンボ対応の EV が量産車として市場投入される時期も未確定です。

そのため、欧州・北米市場では 1 台で CHAdeMO とコンボの両システムに対応するデュアルチャージャーの製品化を発表する充電器メーカーも現れています。

## コネクタ WG

コネクタ WG では、メンバー各社が市場における課題を共有しコネクタへの改良を加えるとともに、要求仕様をまとめてきました。一例として、EV ユーザの声をもとにシングルアクションでの簡単な挿抜操作を安全に実現するため、車両との接続状態を検出する機構を備える改定を行ないました。さらに海外市場を視野に UL, CE の取得も進められています。

規格においては、コネクタの形状・寸法を 2012 年の 9 月の CHAdeMO 仕様書 JIS 化にあわせ TS D007 の付属書 E に反映。さらに年内年内規格化の予定にある IEC62196-3 のスタンダードシートにも反映される予定です。

## 急速充電器の電技解釈適合性の確認

2012 年 6 月に改正された「電気設備の技術基準の解釈」で急速充電器と EV 間の電路の対地電圧が 450V 以下であることが要求されました。CHAdeMO 協議会としては、仕様の適合性を以下のように考えており、仕様書 v1.0 に日本固有の条件として追加する予定です。

- 1) 充電中の電圧は EV 側の電池で決定されるが、現状の EV は 450V 以下であり今後もこれを守る。
- 2) 急速充電器は充電開始前に安全確認のために試験電圧 500V を印加することは内線規程の原則に則ったものである。

## ペースメーカー利用者への対応

急速充電器が充電中に植込み型心臓ペースメーカー等に及ぼす影響調査において、一時的な影響を与える場合があることが確認されたことから、協議会として 12 月下旬から新設充電器の取扱説明書への文書追加、および急速充電器へのステッカー貼付により注意の徹底活動を開始しました。

その後 3 月 19 日に厚生労働省・経済産業省から正式に文書で取扱説明書での情報提供と本体への注意喚起表示が指示されています。



# CHAdemo 整備部会活動

整備部会は5回開催し、延べ878人の会員の皆様に参加していただきました。

開催日	参加者	主な議題	発表者
第13回 4月17日	214	認証型コンセントの開発 太陽光発電系統連系インバーター 急速充電コネクタの開発 充電施設の設置・配置に関する実証試験報告 充電設備の位置情報共有化WG報告(2)	ソニー KEC 古河電工 国土交通省 インクリメントP
第14回 7月10日	207	LEAF to Homeの開発 COCO充電ウェブサイトの報告 EVPOSSA紹介 Efficient XML Interchange紹介 急速充電器の取扱に関する省令改正	日産自動車 日産自動車 EVPOSSA 富士通 総務省
第15回 10月10日	168	アウトランダーPHEV CHAdemoで行く急速充電の旅企画 EV・PHVインフラ推進計画 充電器EMC試験対応設備について EV用移動急速充電車「Q電丸」開発	三菱自動車 日本EVクラブ EV・PHV広域連携協議会 KEC モビリティープラス
第16回 12月19日	167	急速充電設備の電力供給特別措置について 既存マンションへの充電設備導入マニュアル デミオEVの紹介 急速充電器のランニングコスト低減提案 充電器位置情報収集・共有WG報告 QC用直流地絡検出器(UL, CE対応) 電技解釈改正に伴う最大電圧の解釈	東京電力 マンション修繕施工協会 マツダ ジェルシステム インクリメントP 正興C&E CHAdemo事務局
第17回 3月4日	142	新型リーフの紹介 次世代自動車インフラ整備促進事業 CHAdemo欧州総会報告 ULの概要とEV関連サービスについて EVサービスと試験設備について Wireless給電システムのUL規格について	日産自動車 経済産業省製自動車課 CHAdemo事務局 UL Japan

## 位置情報共有化WG

位置情報共有化WGは、インクリメントP(株)をリーダーとし、三菱自動車、富士通の協力のもとでデータベース化の作業を進めてきました。平成25年3月末には普通充電器の情報も加えた充電器位置情報をCHAdemoのホームページで一般公開することができました。

この充電器位置情報は、住所、緯度・経度、利用時間、料金などをCSV形式にまとめたもので、一般ユーザだけでなくビジネスユースにも利用できる品質をめざしており、今後も定期的に追加・更新し、品質の維持向上に努めて行く予定です。

## 急速充電器の同一敷地内複数契約が可能に

平成 24 年 4 月から急速充電器に対して同一敷地内複数契約を可能とする特別措置が適用されました。敷地内への出入り、既設設備との区分、工事費の申込者負担など幾つかの適用要件を満たすことで、既にある引込線とは別に急速充電器専用の引込線の設置が可能となります。EV の普及に向け、インフラ整備につながるものと期待されています。

## 火災予防条例で急速充電設備の規制が定まる

これまで急速充電設備は消防法上の扱いが定かでなく、所轄消防署による個別判断となっていました。2012 年 12 月から市町村の火災予防条例で規制内容が定まりました。この結果、設置時の届出は不要となりましたが、急速充電設備であることの表示、衝突防止対策、定期点検の実施などが求められています。これらの具体的な対応については、法令遵守の面から所轄の消防署へ事前に説明しておくことが大切になります。

## 次世代自動車充電インフラ整備促進事業が始まります

経済産業省では 2013 年度、充電設備の購入費だけでなく工事費の一部も補助し、インフラ整備を計画的・効率的に進めていくための事業を実施します。この事業では急速充電設備だけでなく普通充電設備も対象となります。補助範囲と補助率は、充電設備は自治体が策定するビジョンへの適合および公共性によって変わります。申請窓口は次世代自動車振興センター（NEV）で、補助申請の決定は 2013 年度末までとなっています。

## Smart City Week 2012

2012 年 10 月 31 日～11 月 2 日パシフィコ横浜で開催された日経 BP 社主催 Smart City Week 2012 に 8 社（日産自動車、三菱自動車、ワゴジャパン、住友電工、大電、矢崎総業、菊水電子横河メータ&インスツルメンツ）が参加して CHAdeMO 協議会ブースを出展しました。

CHAdeMO ブースにはホール入口すぐに 4 コマ分のスペースが提供され、多くの来場者に立ち寄りいただきました。



# 欧州 CHAdeMO の活動

## 欧州 PR ツアーの実施

第1回 PR ツアーとして9月24日から28日にかけて、日本の幹事会メンバーと欧州リエゾンで構成するCHAdeMO 広報チームがノルウェー、アムステルダムでのCHAdeMO 充電器の普及プロジェクトを訪問したほか、欧州各国の政府関係者、業界団体を訪問し、CHAdeMO の技術・活動を紹介するとともに欧州情勢について意見交換を行いました。

第2回 PR ツアー(11/29-12/9)は、欧州でたびたび議論になる充電インフラ整備と電力系統への影響などについてイタリア、フランス、ポーランドの電力関係者と意見交換を行いました。

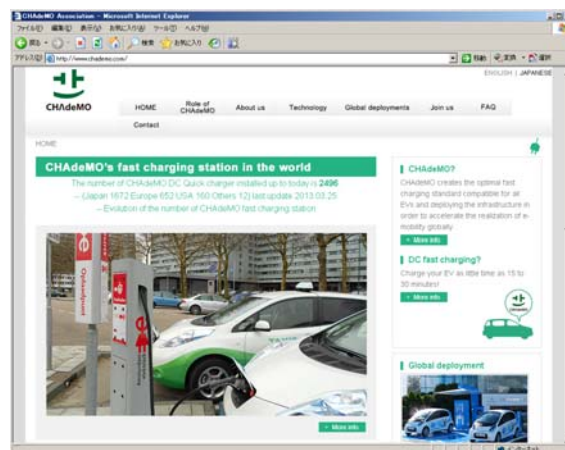
これまで海外ではCHAdeMO 協議会の顔が見えないと言われることがありましたが、直接コミュニケーションを行なうことで、理解を深めることができました。



## 情報発信強化の取組み(1) Web サイトリニューアル

私たちは2012年度の活動目標の柱として情報発信の強化を掲げました。INOVOS社の欧州CHAdeMO リエゾンメンバーは、7月から欧州を中心とする海外市場向けにテーマ性を持ったWeb サイトデザインとコンテンツ作成に精力的に取り組みました。

その成果は、2013年1月に新しいデザインで生まれ変わったCHAdeMO ホームページとして世界に公開されました。充電インフラ普及に取り組む各地のプロジェクトや、参加する行政機関・団体の担当者の生の声をわかりやすく紹介する企画は、新たなサイト訪問者を呼び込み、まだCHAdeMOが導入されていない国や地域からもビジネスに関する問合せ件数が大きく増加する効果を生んでいます。



## 情報発信強化の取組み(2) コミュニケーションパッケージ作成

展示会やカンファレンスで配布するパンフレットをロングバージョン（12ページ）、ショートバージョン（4ページ）の2種類を作成しました。このパンフレットは、2回にわたるPRツアーで活用したほか9月のパリモーターショー以降、各地のイベントで配布を行っています。

9月下旬に上海で予定されていた日中グリーンエキスポ用に中国語版も作成しましたが、残念ながら展示会は中国国内の治安悪化のため中止になりました。

**CHAdeMO's cooperators**

**World-class international cooperation across industries**

The members of the association represent a set of diverse partners from multiple sectors of the industry who all share the same vision. CHAdeMO offers a unique open platform to share knowledge and experience, and continuously improve its solution based on such dialogues.

Leading international partners from different sectors, both private and public, make up today's CHAdeMO association.

More than 430 organizations in 20 countries around the world are represented in the CHAdeMO association today. This wide acceptance by members with various profiles promotes the global recognition and reliability of our technology. As a result, public tenders are being issued regularly stating CHAdeMO as the reference for DC fast charging.

CHAdeMO is open and eager to accept new members who share the same vision to promote a sustainable mobility world.

**CHAdeMO Workshop**

We organize Infrastructure Workshops to share experiences in different sites and regions, and Technical Workshops to review and improve our technologies.

This online communication platform brings members in a unique way to share and accumulate knowledge and experience demonstrating the clear position of the CHAdeMO standard on the leading charging process.

**Our global cooperators**

**Fast charging extends driving freedom of electric vehicle**

With CHAdeMO fast chargers, electric vehicle gains more driving versatility to become your best friend.

	Short Distance	Mid Distance	Long Distance
Length	Home/Office	Urban area / Super Market, Mall, Restaurant, Parking Lot or Gas station in city	Inter city / National network (Service Area, Gas station)
Charging type	Office charging	Destination charging	Pathway charging
Charger type	Normal	Semi-fast or fast	Fast
Charging site	Home/Office	Urban area / Super Market, Mall, Restaurant, Parking Lot or Gas station in city	Inter city / National network (Service Area, Gas station)

**Fast charger installation doubled the highway usage.**

Only **20%** of all the registered EV drivers across the ten cities drove on the highway.

Thanks to CHAdeMO fast chargers, EV drivers across the highway zone **doubled.**

**Fast charger 2 units** (Inter-city highway 220km): **19%** of EV drivers used the highway

**Fast charger 6 units** (Inter-city highway 100km): **46%** of EV drivers used the highway

**Studies**

## 欧州 CHAdeMO 総会

2012年度の欧州総会はベルギー ブラッセルで開催しました。（参加者 17カ国，70人）

午前の部では、欧州で初めて正会員を対象とする技術部会が開催されました。日本から技術部会代表として灰田（東電）が ver.1.0 改定互換性に関する問題点、第3者認証に向けた進捗状況などを報告し、活発な質疑応答が行なわれました。

後半は会員に限定しないオープン形式でのセッションが開催され、ERDF（フランス電力）、欧州各地の充電インフラ・プロジェクト（エストニア、デンマーク、ノルウェー、スイス）、COBUS（ポルトガル、ドイツの電気バスプロジェクト）などが紹介されました。

午後の最後のセッションとして、CPT 指令案\*の対応をテーマにしたパネルディスパッションが行なわれました。

\* 1月24日、欧州委員会が欧州のDC充電規格を「コンボタイプ2」に指定するCPT（Clean Power Transport）指令案を発表したことを受けて、CHAdeMO協議会は既存の充電インフラ、EVユーザーへの考慮をするべきとの意見書を公開しています。



# 幹事会からの報告

## CHAdemo 商標のガイドライン策定

2012年6月、CHAdemo のロゴマークおよび呼称「チャデモ」と類似の商標を登録すること、また製品やサービスの名称として使用を禁止することを定めたガイドラインを策定しました。

## 機能拡張 WG の設置

放電機能拡張については、日産リーフ用 LEAF to HOME や三菱自動車製 MiEV power BOX など、車両から DC 出力する機能が CHAdemo 規格をベースとして実用化されてきております。CHAdemo 協議会としても V2H (Vehicle to Home) システム用インタフェースの共通仕様策定を、関係各署と調整しながら今後進めて参ります。

また、2012年10月には大型車両、DC 入力などへの対応を検討する作業会を開催し、意見を集約しました。これからの進め方について WG リーダーを含め検討中です。

## 日比谷事務所開設

協議会運営体制の改善・事務局機能の独立は前年度からの課題として検討してきており、第1段階として2012年10月より東京事務所を開設しました。同ビルには共用会議室があり、検定・仕様書 WG ほかの会議で使用しています。

今後、CHAdemo の法人化を前提とする組織体制案をまとめた上で事務局業務を移転していく予定です。



# 2012 年度活動サマリ

	2012年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2013年 1月	2月	3月	
幹事会	★ ★	★	★ ★	★	★	★	★ ★	★	★	★	★	★	
欧州CHAdEMO		★(5/22)CHAdEMO総会		★Steering Committee							★(2/19)欧州総会		
技術部会 検定・仕様書WG							★(10/10) 拡張仕様検討会		★(11/4) ベースメーカー説明会	★(1/29)検定トライアル	★(2/14)検定SYS説明会		
国際標準化会議		★(5/17) IEC61851@東京		★(7/25) IEC61851@Munich					★(12/11) ver1.0検定器工場試験		★(2/20)IEC-ACOS	★(2/25)61851-23CDV	
充電器検定実績	★富士電機 ★九電テクノシステムズ	★日本リライアンス ★ニチコン ★デンゲン ★Siemens AG(独)		★三英社製作所 ★高砂製作所 ★GSユアサ ★新電元工業		★エネゲート ★ハセテック ★JoongAng Control(韓)		★シンフォニアテクノロジー ★PNE SOLUTION(韓) ★高岳製作所 ★Efacec(ポ)	★日産 ★EVTEC(スイス)		★菊水電子 ★高岳製作所 ★日立製作所	★APAS(香港) ★Nation-E(スイス)	
整備部会 位置情報共有化WG	★(4/17)	★	★	★(7/11)	★ ★ ★ ★	★ ★	★(10/10)	★	★(12/19)	★ ★	★ ★	★(3/4)	
広報・渉外活動など	★(4/16)OECD Green Car Workshop (Paris) ★(4/27) 消防庁:改正火災予防条例(例)通知	★(5/11) ノルウェーEV UnionとのMOU ★(5/14) Electric Odyssey(EV世界1周)来日		★(6/11)IEEE Standard Association 交流会議 ★(6/22)チャデモ商標の使用ガイドライン発行 ★(6/29) 電気設備の技術基準の解釈 一部改正	★(7/24)全国消防長会東近畿支部予防業務研究会		★(9/20) JIS標準仕様書(TS)発行 ★(9/20-22) 日中グリーンエキスポ(中止) ★(9/24-27) 欧州PRツアー(1)	★(10/1) 日比谷事務所開設 ★(10/30) EVUPDATE PHEV/EVインフラ2012 ★(10/31) Smart City Week 2012	★(11/29-12/9) 欧州PRツアー(2)	★(12/12-13)NextGen Auto Summit(上海)	★(1/22)充電器累計2,000台達成 ★(1/30)SG6(東京)	★(2/18)EC DG Transport会議	

仕様書・検定WGの開催実績

	開催日	主な議題
第1回	4月4日	Ver1.0検定の進め方と課題整理
第2回	4月18日	Ver1.0検定体制案, 表示ガイド
第3回	5月16日	仕様書改定項目(アンケート), レビュー
第4回	6月1日	検定試験チェックシート
第5回	6月12日	逆流防止ダイオードの要件/EMC試験
第6回	6月27日	検定ツール/仕様項目一覧, TS化検討
第7回	7月19日	検定項目一覧/WGのスケジュール
第8回	8月1日	項目選定の基準及び分類
第9回	8月22日	コネクタSWGの報告ほか
第10回	9月7日	項目選定の基準及び分類
第11回	9月26日	グラウンド線ノイズ規定, ペースメーカー対応
第12回	10月11日	グラウンド線ノイズ規定, ペースメーカー対応
第13回	11月1日	コネクタWG報告, 検定トライアル
第14回	11月22日	コネクタ試験基準
第15回	12月13日	コネクタ試験基準
第16回	1月10日	仕様書修正・追加項目の審議
第17回	1月31日	検定規格書ドラフト審議
第18回	2月14日	申告書, 販社運用ルールほか
第19回	3月7日	コネクタチェックシート協議

検定WG参加企業:

日産(主査), 三菱自動車, トヨタ, 富士重工, ホンダ, スズキ, マツダ  
 高岳製作所, ハセテック, 高砂製作所, 富士電機, 日鉄エレクトックス,  
 矢崎総業, JFEエンジニアリング, 日立, 新電元,  
 ベクタージャパン, 東京電力(幹事)

コネクタWGの開催実績

	開催日	主な議題
第11回SWG	4月16日	スタンダードシート, 評価方法
第12回SWG	5月31日	コンボコネクタ, スタンダードシート, 評価方法
第13回SWG	8月28日	評価方法, 技術部会からの提案
第14回SWG	10月29日	EV充電用ケーブルの標準化, コネクタ検定
第15回SWG	11月17日	チェックシート協議(防水性能ほか)
第16回SWG	12月7日	チェックシート協議(破損事例FTAほか)
第17回SWG	1月22日	チェックシート協議(強度試験ほか)
第18回SWG	2月8日	チェックシート協議(FTA, 落下試験ほか)
第19回SWG	3月29日	チェックシート協議(FTAほか)

コネクタWG参加企業:

矢崎総業(主査), 矢崎部品, フジクラ, 住友電気工業, ITTキャンノ,  
 日本航空電子, タイコエレクトロニクスジャパン, 大電,  
 パーツサプライセンター, 日立電線, フェニックス・コンタクト,  
 古河電気工業, U'eyes Design, ワゴジャパン, 東京電力(幹事)

位置情報WGの開催実績

	開催日	主な議題
1回SWG	5月30日	位置情報共有化仕様, 調査入力ルール
2回SWG	6月21日	情報取得ルール, フォーマット, タスク, 役割分担
3回SWG	7月2日	運用, メンテナンス, フォーマット, 調査入力ルール
4回SWG	7月9日	運用, 体制, フォーマット, 役割分担
第5回WG	7月23日	位置情報収集・共有化スキーム, 賛同会社募集
5回SWG	7月26日	応募状況, 対応案, 役割分担
6回SWG	8月9日	富士通との意見交換
7回SWG	9月6日	運用イメージ, システム要件, WEB, 規約, 運用
8回SWG	9月27日	規約, DBシステム構築, 調査手順、
9回SWG	10月5日	規約, 調査協力会員申請書, 情報提供フォーマット
10回SWG	10月19日	規約, 依頼用資料, 個人情報保護, システム進捗
11回SWG	11月20日	スケジュール, 会員外への情報収集協力依頼
12回SWG	12月5日	スケジュール, 会員外への情報収集協力依頼
13回SWG	12月17日	位置情報データの確認作業方法
14回SWG	1月11日	位置情報データの確認作業方法と進捗
15回SWG	1月21日	情報提供者への依頼方法, スケジュール
16回SWG	2月6日	電話調査作業進捗, DB運用
17回SWG	2月20日	電話調査作業進捗
18回SWG	3月1日	システム進捗, DB運用管理
19回SWG	3月6日	情報公開スケジュール
20回SWG	3月18日	公開データの確認, DB更新管理

位置情報SWG参加企業:

インクリメントP(主査), 三菱自動車, 富士通, 東京電力(幹事)

2012年度 幹事会開催実績

開催日	主な議題
4月13日	2012年度活動計画, 総会開催
4月25日	総会開催, 商標運用ルール
5月11日	総会進行案, 商標運用ルール
6月11日	IEC活動状況, 広報活動計画, V2H拡張WG
6月22日	商標ガイドライン, V2H拡張WG
7月20日	広報活動計画, 欧州CHAdeMO意見書
8月10日	検定システム開発, 補正予算案
9月7日	JIS化, ペースメーカー対応, 事務局運営体制
10月4日	ペースメーカー対応, 事務局運営体制, 商標運用
10月19日	検定システム開発, ペースメーカー対応, 事務局運営
11月8日	ペースメーカー, OEM充電器の検定, プレス対策
12月7日	電技解釈改訂の見解, 知財方針, 電圧範囲
1月18日	事務局運営, Ver1.0互換性対応について
2月15日	欧州総会, EU会議ほか
3月15日	ver.1.0互換性問題, EU委員会対応

幹事会社: 日産, 三菱自動車, トヨタ, 富士重工, 東京電力